

---

# CHAOS!!

狛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

CHAOS!!

### 【Zマーク】

Z8319Y

### 【作者名】

狛

### 【あらすじ】

元番長でヤンキーだった黒崎真冬（ ）、現不良でシンデレな早坂、俺様何様鷹臣様の佐伯鷹臣、忍んでる由井忍、思考メルヘンな緑川学園の番長・桶川饗太郎。その他もうもろ、気付いたらBLEACHの世界へ。巻き込みつつ巻き込まれる派茶目茶ストーリー！（たぶん！）俺様ティーチャー×BLEACHのクロスオーバー小説です。

## #1・始まり（前書き）

突発的に書きたくなりました。

ゆっくり書いてこうと思します（^\_^）

ギャグセンは低いので」注意を！

## #1・始まり

拝啓、母上様。

一人暮らし始めて、ようやく朝食を作れるようになつてきただこの頃です。

「続いては今日の上にカウントダウン……」

朝七時ジャスト。

テレビの前に朝食を<sup>カッफラーム</sup>セツトして、画面に食い入る。

「今日のワースト<sup>ハラクル</sup>は射手座のあなた…ハラクルが起きすぎて全体的に不幸な日。刃物と袴に注意して下せ」

「ぼろつと箸が口から落ちた。

「注意つて……どう注意すればいいのさ……」

## キーンホームカーンホーム

朝の不吉（？）な占いから、学校に来てボーッとしたらいつの間にかお休み。

椅子に座りすぎてお尻が痛いな なんちて。

とつあえず、マイフルーツの早坂くん<sup>1</sup>のことを相談してみる。

「せりや、手を切らぬ一歩一歩のじゅうじゅうの？」

早坂くんは金パド不良のくせに、実はかなり生真面目さん。

私より頭がいいなんてちょっと羨ましい。

「じゃ、じゃあ寝ぼー？」

「剣道部に注意とか」

「なるほどー！」

なんかあれだね。『うううう会話、ザ・女子高生！みたいな！』

やんけや（番長）してた頃なんか、会話が

『真冬さんー西校が攻めてきたー』

『真冬さんー桜田のパンツウサギでしたー』

『真冬さんーぜひ縛つてください！それはもうわたくしーーー！』

な感じだつたしねえ。

ちなみに真冬は私で、桜田つてのは西校の番長ね。

私が見たのはハートのパンツだつたなあ。

「あ、そーだ。佐伯が、今日の部活は外に行くつて

「なんで？」

佐伯センセー、もとい佐伯鷹臣は我等が顧問、かつ私の幼なじみ。

私がやんちゃするよつになつたのつて全部この人が原因で。

鷹臣くん、学生時代は番長で関東統一してました。

そして、私達が入ってる部活ってこのままでいいのか……

「それはもちろん俺のこじとも浮んでくれるだろつなかーー？」

「由井、いたのか」

「忍者どりから出てきたのー?」

「ふつ……俺にかかればこんなのもちよーのちょーあーーー。」

「いや、校舎改造しちゃはずいだら」

……うん、私達、風紀部。

この眼鏡かけた残念な人が由井忍つて忍者野郎で。

とにかく神出鬼没。

キーンゴーンカーンゴーン……

「あ、トイレ行くの忘れた」

「…………」「…………」

あつといつ間に放課後！

学校から出て、私、早坂くん、鷹臣くん、忍者の順に並んで歩いてます。

「ねえ、今日は何するの？」

「あ？ 警察に行くんだよ」

け、警察だと………？

「鷹臣くん何しでかしたの！？人！？人殺したの！？」

「それで鷹臣くん！ 暗殺はどのように行つたんだい！？」

「いいから黙るうつか」

鷹臣くんに殴られる。

『ゴジン、といつか』キヤツみみたいな音。

小さこ頃から殴られ慣れてるナビやつぱ痛こよーーー！

忍者も、口口口転がつてゐるし！

「でもなんで警察なんかに行くんだ？」

「家の鍵を落としてな。拾われてねえか確かめに

「それだけ！？」

「それだけとはなんだ、真冬。部屋に入れねえんだぞ、寒みいだろ  
うが」

「だからってなんで私達まで！？なんか私達が悪いことしたみたい  
じゃん！..」

「いいじやねえか。ビリせ暇だろ」

「うつわ、事実なだけに反論できない！」

でも警察なんて行きたくない。私、前科（喧嘩してたら逃げ遅れて  
捕まつた）あるしね！

「あ、モールス」

と、前から来る見慣れた人。

「あー、番長じゃないですか！」

番長の桶川饗太郎。コンクリ粉碎できる鉄拳の持ち主で趣味はモールス。

私も趣味モールス。

ビバ・モールス仲間！！

そして番長はねこまさんていつ、よく分からないキャラクターが大好きです。

思考がメルヘン。

「番長、こんな時間に何してたんですか？」

「いや、映画を観に」

なるほど、ねこまたわんの映画ねきっと！

「てめえらは何して　」

その時だった。

「ナニヤー！」

通行人みんな、私達の頭上を見て、誰かが叫んだ。

「な、なに！？」

おばつ。

鐵骨

ガシャアアアアン！！

はい、  
気を失いました。

……つてなにこれ！！

占い外れてんじやん！！

# 私のシャイーイーンな高校生活は！？

死んだの？ 私死んだの！？

何とか言いつてよー・ジョーー！

「 つは！」

目が覚めた。

あれ？ 夢……？

「あ、 起きた」

「ほんとだ！」

私の顔を覗いてるお一人さん。 一人は黒髪に 一人は茶髪の女の子。

シャ、 シャイーン！

「あたしも行くー！」

「あたしも行くー！」

走つて いく姿を 可愛いなあ！ と思いつつ。

「こ」はどうなんだ！

「あれ、あんた起きたのか」

ガチャっと入ってきたのは同じ年くらいの男の子。

髪がオレンジ色だ……

もしかしてヤンキーなのかな?

「ほつとくせじ、コレ血モだからな」

なんか早坂くんに似てなくもない……仮がしなくもない。

「俺は黒崎一護。あんたの名は?」

な、

「もしかして生き別れのお兄ちゃん!-?」

「なんでそうなるんだよーー。」

「い、痛い!-怪我人をぶつけいけないんだよーー。」

「あ、悪い!……で、あなたの名前?」

「黒崎真冬!。よろしくねー!お兄ちゃん!」

「誰がお兄ちゃんだーーー！」

拝啓、母上様。

なんか面白いことにならうです。

## #1・始まり（後書き）

とりあえず始まりました。

それぞれキャラの個性をうまく書けたらいいな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8319y/>

---

CHAOS!!

2011年11月24日20時53分発行